

IXIL 補助柱 プログコートフェンス用 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等への危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


警告

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の施工業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

<施工上のご注意>


注意

- 塩分を含む砂は使用しないでください。
- モルタルに使用する砂は塩分を含まないものにしてください。やむを得ず海砂を使用する場合は、洗浄して塩分 (NaCl) 濃度が国土建設省基準値 (0.04%) 以下になった砂を使用してください。
- 施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

■ 梱包明細表

名 称	略 図	員 数	名 称	略 図	員 数
ブラケット		1	控え柱 (L=480)		1
ブラケット裏板		1	柱キャップ		1
【1-1】 M5×10トラス小ネジ		1	【1-4】 φ4×8サラタッピンネジ3種 (D=6)		2
【1-2】 φ4×19バインドテクスネジ		1	取付説明書	—	1
【1-3】 φ4×13バインドテクスネジ		2			

1. 補助柱の取付け ※柱はフェンスの中央部に施工してください。

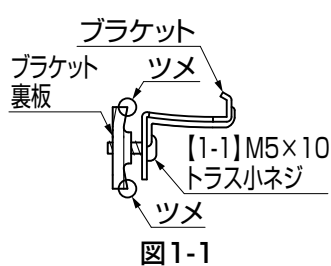


図1-1

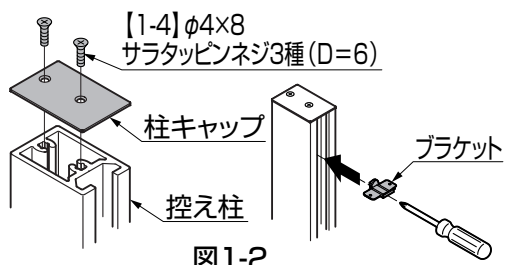


図1-2

- ① ブラケットにブラケット裏板を【1-1】で仮組みしてください。(図1-1参照)

ポイント

- ブラケットには表裏があります。各部にツメが立っている側をブラケットに向けてください。

- ② 柱キャップを【1-4】で取付けてください。(図1-2参照)
- ③ 控え柱にブラケットを仮組みしてください。

ポイント

- 裏板が溝の中で回転して、ほぼ横向きになったことを確認してください。
- 傾斜施工時はブラケットを傾斜角度に合わせて取付けてください。

- ④ 自在柱のH部を計測し、控え柱のH+42mmがG.L.から出るようにし、残りはG.L.下にモルタル等で固定してください。(図1-3参照)

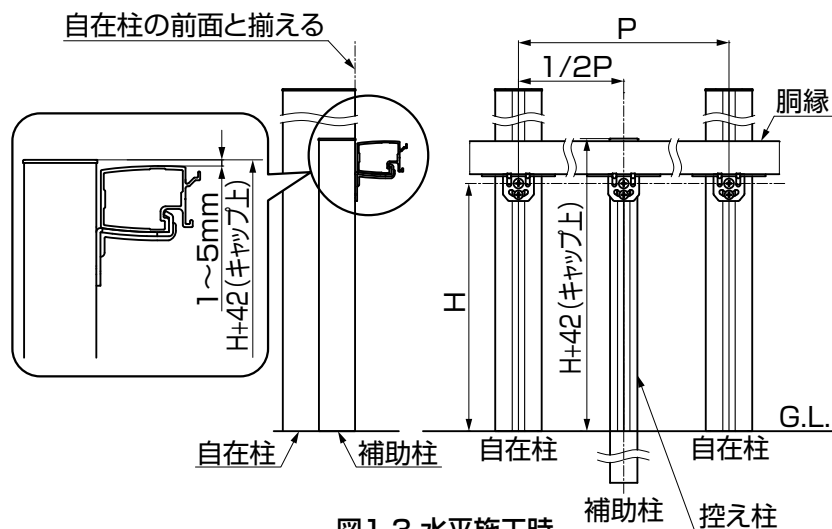


図1-3 水平施工時

ポイント

- 控え柱のキャップが胴縁より1~5mm出るように施工してください。
- 傾斜施工時は、控え柱のH+48mmがG.L.から出るようにし、キャップ上が胴縁より1~5mm出るように施工してください。(図1-4参照)

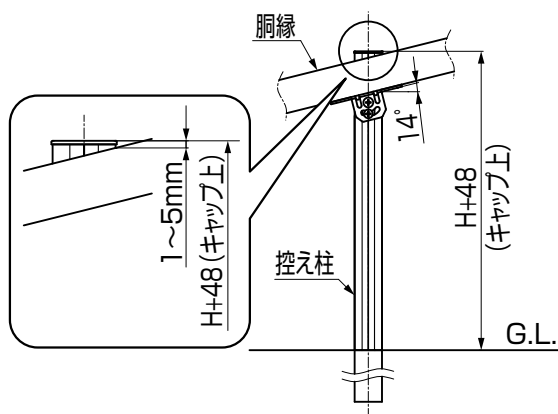


図1-4 傾斜施工時

- ⑤ 【1-1】を一旦緩めて(※1) 胴縁にブラケットをはめ込み、再び締め付けてください。(図1-5参照)
- ⑥ 控え柱とブラケットを【1-2】で固定してください。(※2)
- ⑦ 胴縁とブラケットを【1-3】で固定してください。(※3)

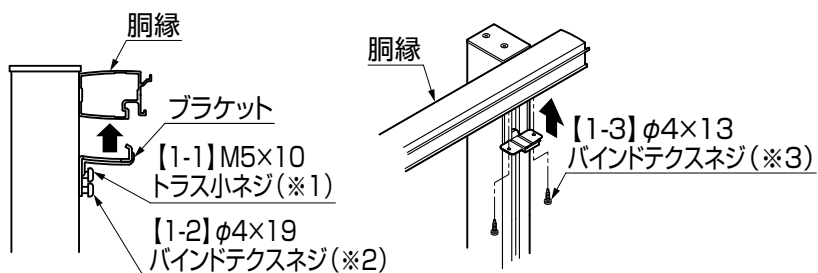


図1-5

取説コード

C386

JZZ617336C
200901A_1001
201607D_1049